

星野富弘花の詩画作品展 at かもい聖書教会

心やすらぐ アート展

2024



感謝
かもい聖書教会
富弘美術館を囲む会

入場無料

6/12 (水) ▶ 6/16 (日)

[開場時間] 12(水) 12:00 ~ 15:00
13(木)、14(金)、15(土) 10:00 ~ 15:00
16(日) 12:30 ~ 16:00

[展示内容] 星野富弘詩画(額装印刷物)約30点、他パネル、物品販売あり

[主催] かもい聖書教会

[協力] 富弘美術館を囲む会 東京・神奈川支部、グローリア・アーツ株式会社

星野富弘さんは中学の体育教師である 24 歳の時、クラブ活動の指導中に頸髄を損傷し、手足の自由を失いました。

絶望の淵に立たされましたが、病院を訪ねて来てくれる友人や生徒、そして彼らの手紙に励まされました。

その手紙に返事を書きたいと、字を書くために口に筆をくわえたことから生きる希望を見つけ始めます。それから多くの作品を描き、多くの展示会が開催されました。

星野さんの描く詩や草花の画はやさしさと温かさにあふれています。

花や詩にこめられた星野さんの世界に触れ、生命の尊さを感じる出会いになりますように。

星野富弘プロフィール (2024年4月1日 現在)

1946年 群馬県勢多郡東村 (現・みどり市東町) に生まれる。

1970年 3月 群馬大学を卒業し中学校の体育教師になるが、
6月 17日 クラブ活動の指導中に頸髄を損傷し手足の自由を失う。

1972年 群馬大学病院入院中、口に筆をくわえて文や絵を書き始める。

1979年 入院中、前橋で最初の作品展を開く。9月に退院し、帰郷。

1981年 結婚。雑誌や新聞に詩画作品やエッセイを連載。

1982年 高崎で「花の詩画展」開催。

1991年 群馬県勢多郡東村に村立富弘美術館開館。

2005年 新 富弘美術館新館開館。

現在も詩画や随筆の創作を続けながら、全国で「花の詩画展」を開いている。



富弘美術館



ペンペン草



悲しみの意味 (サフラン)

[会場案内 / 問い合わせ先]

会場 **かもい聖書教会**

横浜市緑区鴨居2-29-4 / TEL 045-931-3312



Home page



E-mail

[交通機関]

◎自動車

第三京浜 港北ICより10分

※駐車場はございますが満車の場合は近隣のコインパーキングをご利用ください。

◎電車利用 JR横浜線 (南口より)

○徒歩 10分

駅前通りを新横浜方面へ100m

ガストのある「東本郷団地入口」交差点を右折し500m

牧野リハビリテーション病院前のT字路を左折しすぐ

○バス

鴨居東本郷線 東本郷ヶアプラザ行き「殿谷戸」下車 徒歩2分

